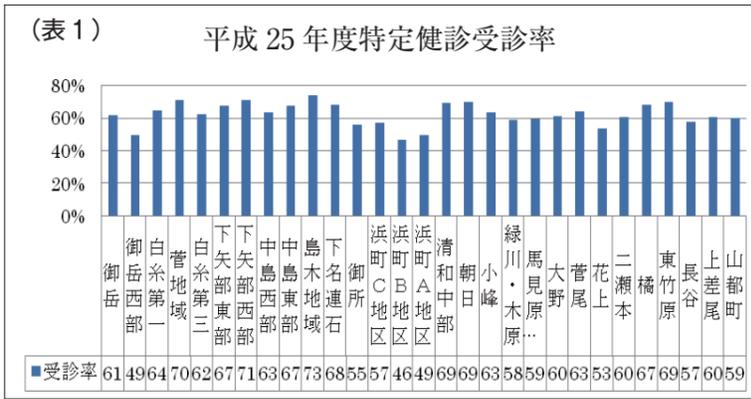


# 保健センターだより vol.39

平成25年度の特定健診受診率は目標60%を目指していましたが、0.1%及ばず、59.9%という結果でした。健診を受けていない人の方が年間一人当たりの医療費も高くなる傾向にあることがわかっています。

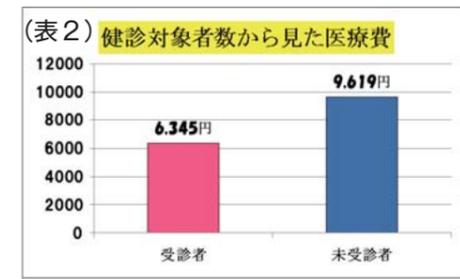


左の表1は平成25年度の自治振興区毎の特定健診受診率です。

**平成25年度山都町健診結果についてのお知らせ!**

次に表3では平成25年度の特定健診の結果で基準値以上であった人の割合を五項目で示しています。特に山都町ではHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）という糖尿病の検査項目による基準値以上の割合が約70%と高く、糖尿病や糖尿病予備軍の方が多いことがわかります。また血圧やLDLコレステロールも特定健診・後期高齢者健診において40%を超えて高い状況にあります。

重症となつて病院受診をされている傾向にあることがわかっています。健診対象者数から見た医療費は、受診者が6,345円、未受診者が9,619円です。健診を受けていない方が医療費が高くなる傾向にあることがわかります。

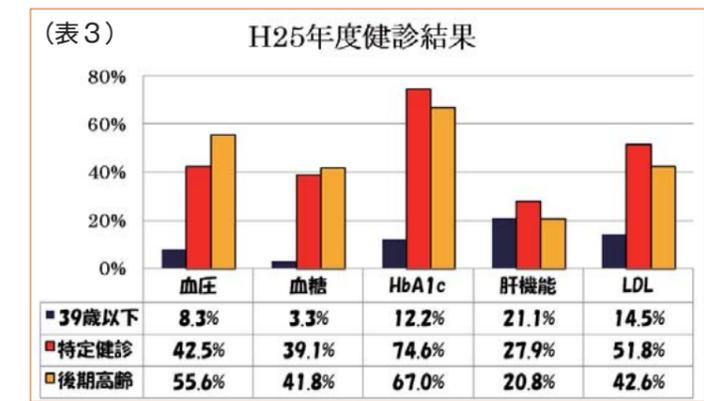


(表2) 重症となつて病院受診をされている傾向にあることがわかっています。

**山都町に多い糖尿病!**

下記の表4は特定健診受診者の生活習慣質問票の結果を国と、山都町と人口規模が同規模の130町の平均と比較したものです。山都町では食後間食、就寝2時間以内夕食、毎日飲酒の割合が高いことがわかり、この習慣が健診結果に影響していることが

生活習慣病の悪化予防のために! 生活習慣病の悪化予防のために! 生活習慣病の悪化予防のために!



項目	国	同規模町	山都町
食後間食	11.8%	12.4%	14.8%
就寝前夕食	16.1%	16.7%	23.4%
毎日飲酒	25.5%	25.3%	26.1%

考えられます。生活習慣病は生活習慣の改善で予防できる病気で、健診を受けて生活習慣を見直し改善をすれば、重症化しないと言われていいます。生活習慣病の増加を抑えるためにも、病気を未然に防ぐ努力が必要になります。山都町民全員で生活習慣の改善に取り組みましょう。

**おすすめ春健診!**  
**今年度最後の健診!!**  
**清和地区・蘇陽地区で実施します!**

期日	場所
平成27年2月12日(木)	清和保健センター
2月13日(金)	蘇陽総合支所

## 第55回熊日写真展 新人の部特選 「北半球の天の川」



今年8月に募集があった第55回熊日写真展の新人の部で、折尾拓美さん(米生)が見事特選に選ばれました。写真のタイトルは「北半球の天の川」。全国に誇れる山都町の星空を写真に収めることでこの町を色んな人にもっと知ってもらいたい、好きになってもらいたいという気持ちで今回撮影されました。写真の撮影について、普段見られる天の川も光害がある場所では見ることが出来ないとのこと。受賞について折尾さんは、「暗闇こそが山都町の宝、後世へと残していきたい財産です。この賞を励みに、山都町の良いところをこれからも写していこうと思います。」と話されました。

受賞された作品  
折尾拓美さん、「暗闇こそが山都町の宝、後世へと残していきたい財産です。この賞を励みに、山都町の良いところをこれからも写していこうと思います。」と話されました。

## 「学校給食・食育」研究発表会

蘇陽南小学校 校長 藤吉勇治

11月14日「学校給食・食育」研究発表会を開催しました。蘇陽南小学校は、県教育委員会指定及び県学校給食会委嘱の研究推進校として、平成25・26年度の2年間に亘って研究を進め、研究の内容や成果を発表しました。当日は、県内各地より140名を超える参加をいただきました。「研究の成果は子どもたちの姿で」は、この2年間ずっと言い続けてきた言葉です。目指す子どもの姿に向かって全職員が一丸となって取組を続けてきました。特に、本校の研究の特徴は、それぞれの学年が老人会など地域と連携して作物の栽培活動を行い、収穫した作物を使ってふるさと料理を作るなど、老人会と交流を行ってきたことです。体験活動を通してふるさとを見つめ、地域の方々や「食」に関わる人たちとの出会いがあり、学びを深め、生命尊重や感謝の気持ちを高めてきた子どもの姿がありました。さらにPTAも学校と連携して「親の学び」プログラムなどの自主的な活動を実施され当日発表されました。また、当日は、子どもたちの育てた作物を使って、PTAで赤飯と豚汁を作られ「おもてなし昼食」として参加者に食べていただき大好評でした。とても充実した実り多い研究発表会でした。これからも研究を継続し、さらに実践を深めたいと思います。

